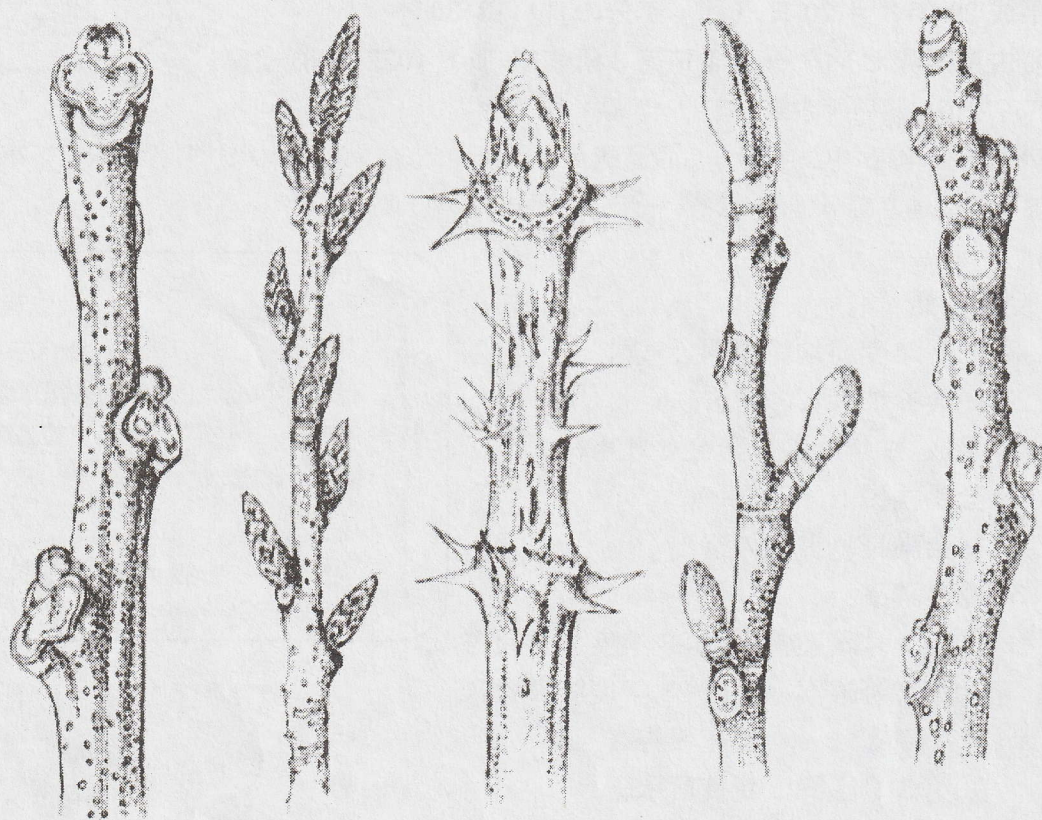


協議会ニュース

No. **154**

2017. 3



Contents

02	【募集】通常総会、講演会	事務局	石原 則義
03	協議会交流の日 報告	知多支部	森田 琢磨
04	吉賀池湿地に咲く秋の花を見よう	尾張支部	齋竹 善行
05	秋の渡りと干潟の生きもの	尾張支部	齋竹 善行
06	尾張支部総会報告	尾張支部	内海 勇夫
06	東三河支部総会報告	東三河支部	寺本 和子
07	調査・保全担当からのお知らせとお願い(メリケントキンソウ)	調査・保全担当	瀧崎 吉伸
08	私の活動紹介「愛知県森林公園植物園で奮闘中」	名古屋支部	田中美保子
09	平成28年度 第4回理事会 報告	事務局	石原 則義
10	編集担当からのお知らせ/編集後記		

今号の表紙

木村 絢子(尾張支部)

センダン、アベマキ、タラ、ユリノキ、ヌルデ

平成 29 年度

通常総会・講演会

愛知県自然観察指導員連絡協議会の通常総会を下記の通り開催いたします。総会是一年を振り返り、新たな年度の事業などを決定します。日頃出会う機会の少ない遠方の会員の皆様との交流の場にもなります。是非、皆様ご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：平成 29 年 3 月 20 日（月・春分の日）13:30 ～

場所：名古屋国際センター 4 F 第 3 研修室 Tel (052) 331-2141

名古屋市中村区那古野一丁目 47 番 1 号

JR 東海道本線 中央本線「名古屋駅」下車徒歩 7 分 ・名鉄本線「名古屋駅」下車徒歩 7 分
地下鉄桜通線「国際センター駅」2 番出口から直結

名れをご持参
ください

＝ 次第 ＝

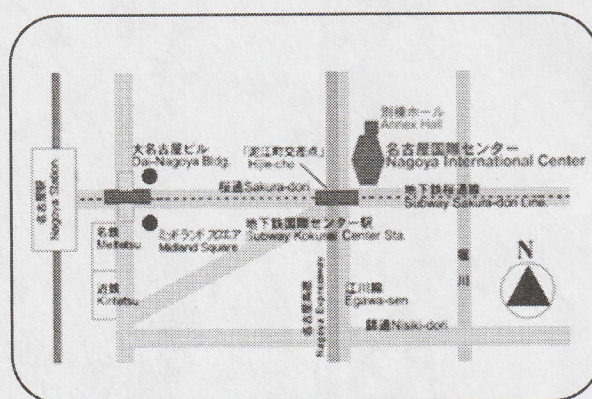
13:15 受付開始

13:30 平成 29 年度通常総会開会宣言

- 1) 総会参加者数の報告
- 2) 平成 29 年度の協議会各理事紹介
- 3) 会長挨拶
- 4) 総会議長、書記の選出
- 5) 総会議事

- ①第 1 号議案 平成 28 年度事業報告
- ②第 2 号議案 平成 28 年度決算報告
監査報告
- ③第 3 号議案 新役員承認
- ④第 4 号議案 平成 29 年度事業計画(案)
- ⑤第 5 号議案 平成 29 年度予算(案)
- ⑥質疑応答・その他

14:40 総会終了宣言



安田 守 先生

～～ 休憩 ～～

14:50 講演会

演題：「イモムシ観察のすすめ」

講師：安田 守 生きもの写真家

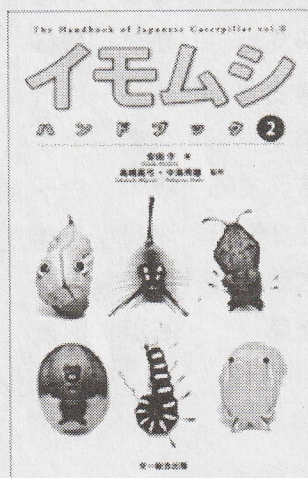
京都府生まれ。私立高校で理科教員を勤めた後、フリーの写真家に。
信州伊那谷を拠点として身近な里山の昆虫など広く生物と自然を撮影している。著書に『イモムシハンドブック①②③』他多数

16:40 閉会・後片付け

16:50 会場退出

※ 当日の緊急連絡先 事務局：石原携帯・090-8607-6712（当日のみ）

※ 総会終了後、懇親会 17:10～（希望者は各支部長に事前連絡を）



イモムシハンドブック表紙絵

協議会交流の日 報告

知多支部 森田 琢磨

【日時】 平成 28 年 11 月 3 日(木:祝)

【天候】 晴れ

【場所】 蒲池海岸(常滑市蒲池町)

【プログラム】

10:15～10:30 開会行事、講師紹介

10:30～11:45 漂着物採集、講師の解説

11:45～12:30 昼食(蒲池コミュニティセンター)

12:30～13:30 講師との懇談、漂着物工作

13:30～14:30 各支部の活動紹介

【参加者】 37 名(尾張 3、名古屋 10、西三河 2、東三河 1、知多 21)

蒲池海岸は伊勢湾岸流や北西季節風で流れ寄る漂着物が多い砂礫海岸です。当日は漂着物学会会員の林重雄講師をお招きして、漂着物を楽しむビーチコーミングのコツを伝授頂くべく各支部会員が参集しました。

講師は地元出身で幼い頃から地域の海の自然や歴史に親しんでこられた方です。開会行事では知多半島全域の航空写真を元に、湾に突き出た地域や河口域には漂着物が多く集積しビーチコーミングの適地になるとのヒントを頂きました。昔、商港・漁港として栄えた場所も多く製塩土器等の生活痕も見つかるとのことでした。

ビーチコーミング実習では思い思いに海辺を歩き、気づいた物、お気に入りの物を拾い集めました。途中、ウミネコの群れ飛ぶ様子やスナビキソウ等の海浜植物も楽しむことができました。

拾い集めたお宝は砂浜に描いたフィールドサークルの周りに流木を立て、その足下

に置いてもらいました。そして、講師からそれぞれの漂着物について解説をして頂きました。拾った物を良く観察して、それがどこから、どんなルートで来たかを想像しながらの説明でした。

植物の種子や魚などの部分骨格から、その種別や原型を推測するのも興味深い話題になりました。

集めたナミマガシワの貝殻を重ねて薔薇の花のようなオブジェを作るなど、それぞれに工夫した展示も見られ楽しい会場になりました。



▲林重雄講師と参加会員たち

風が強くなり肌寒さが堪えてきたので早めに現地を切り上げ、会場を蒲池コミュニティセンターへ移して、豚汁昼食会となりました。知多支部会員が持参した隼人瓜の漬け物や蜜柑を頂きながら講師と歓談出来たのも楽しい思い出になりました。

会場には漂着物で作るモバイル作りコーナーも併設し興味ある方に楽しんで頂きました。最後に参加支部長から各支部の活動紹介を頂き交流会を無事終えました。

あいちの自然観察会

吉賀池湿地に咲く秋の花を見よう

尾張支部 齋竹 善行

日時 10月1日(土) 10:00~12:00

場所 吉賀池湿地(尾張旭市旭ヶ丘町)

参加者 尾張支部：7名、

名古屋支部：1名、知多支部：1名、

東三河支部：1名、一般：2名

吉賀池湿地は森林公園の南側に隣接する湿地ですが、植物などを保護するため普段は立ち入ることができません。今回、秋の一般公開の日にあわせて尾張支部担当の協議会行事「あいちの自然観察会」を企画しました。雨天時は吉賀池湿地の公開が中止となるため、前日からの雨で開催が危ぶまれていましたが、朝方雨があがり無事実施することができました。

尾張支部の会員だけでなく、名古屋・知多・東三河支部の古くからの会員や一般参加者も来てくれました。

最初にここの湿地の管理を尾張旭市から委託されている浦野達朗さんから湿地保全の経緯・現状などの説明を受けました。吉賀池というため池が埋まって湿地となり、ゴミが捨てられていた所に湿地特有の植物が生えていたので、元協議会会員の小栗和夫さんたちがゴミを除去してこのような湿地を整備されたということです。今は浦野さんたちが草刈りなど、湿地の維持管理をされているそうです。

説明を受けた後、シラタマホシクサの白い花が目立つ湿地を見て回りました。公開日なので細い木道は訪れている人で混雑していましたが、ミカワシオガマ、ホソバリンドウ、キセルアザミ、スイラン、サワシ

ロギク、ワレモコウ、サワギキョウ、シラヒゲソウなど湿地植物の花を見ることができました。



▲木道を歩いて観察



▲ミカワシオガマの花

11時からは湿地の外側の区域に整備されている「山辺の散歩道」を巡りました。アオモジなども混じる広葉樹の森で、なかなかおもしろい観察路です。ここではいろいろなキノコを観察できました。

ただ、せっかくの「あいちの自然観察会」なので、もっと多くの人に参加するようなものにできないかといつも考えてしまいます。

研修会報告

秋の渡りと干潟の生きもの

尾張支部 齋竹善行

愛知県自然観察指導員連絡協議会では今年度、各支部の担当で研修会をそれぞれ1回ずつ開催することになっています。尾張支部では、秋の渡りでシギ・チドリが藤前干潟や庄内川河口に立ち寄る時期を狙って、渡り鳥と干潟の生きものを観察する研修会を次のとおり開催しました。

○日時 9月22日(木・祝) 11:00～16:00

(干潟が出現する時間に合わせて設定)

○場所 藤前干潟・庄内川河口部

○講師 梅村幸稔氏(藤前干潟を守る会会員)

台風16号の直撃が心配されましたが、進行速度が上がり、2日前に通過しました。しかし、当日は集合1時間前に尾張東部に大雨警報が発令される空模様で、そうした天候もあってか、参加者は尾張支部6名、知多支部1名とさびしいものでした。

余談ですが、集合場所の稲永公園は雨だというのに周りは「ポケモンGO」をする人でいっぱいでした。話には聞いていましたが、異様な光景にびっくりです。

さて、研修ではまずレクチャー室でDVDを見て、ラムサール条約の登録湿地になっている藤前干潟とそこで見られるシギ、チドリなど野鳥、さらに藤前干潟の保全の取り組みなどを学びました。

昼食後、すぐ北側の名古屋市の野鳥観察館に移動し、設置されているフィールドスコープを使ってシギ、チドリなどの観察を実施しました。干潮の時間帯になると庄内川と新川を分ける導流堤近くに干潟が現れ始め、ミサゴやサギ、シギ、チドリ、カモ、カモメなどの仲間が見られました。シギ、

チドリはよく似た種が多く見分け方が難しいのですが、講師の梅村さんがスコープを見ながら種名を教えてくださいました。



▲干潟の渡り鳥を観察

その後、干潟に入ってカニやゴカイなどの生きものを観察する予定でしたが、雨が続き庄内川の水量が多いうえ、低気圧の影響で水位が上がっていて、干潮になっても左岸に干潟が現れないということで、実施できませんでした。代わりに、環境省の藤前活動センターに出かけ、展示されている干潟の生きものを見ました。

面白い研修でしたが、400名近くの会員数の協議会の研修としてはもっと多くの会員に参加して欲しかったと思います。

＜庄内川河口で観察できた野鳥＞

ミサゴ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、ダイゼン、シロチドリ、メダイチドリ、ホウロクシギ、オオソリハシシギ、ソリハシシギ、アオアシシギ、オグロシギ、オバシギ、コオバシギ、ハマシギ、トウネン、ウミネコ、ハシボソガラス

尾張支部総会報告

尾張支部 内海 勇夫

日 時：1月9日(月・祝)13:30～

場 所：東桜会館(名古屋市中区)

出席者：13名

尾張支部の総会は13名の参加で開かれ、平成28年度事業報告・決算及び監査報告と平成29年度の役員、事業計画及び予算が承認され、尾張西部生態系ネットワーク協議会への加入も承認されました。

定例観察会は10箇所、不定期の観察会「稲作り体験と観察会」を今年度も行う予定です。一泊研修は「医王山」で、研修会・交流会も計画しています。あいちの自然観察会は定例の海上の森自然観察会・4月定例会(4/15(土))を予定しています。

協議会の大谷会長から、今まで県が主催していた指導員講習会を今後協議会が主催するため、大変だという話がありました。支部でも協議会全体の動きについて考えていく必要があるようです。他支部の動きについても、情報を得ていきたいと思えます。とりあえず尾張支部としては、会の発展のために新入会員の拡大や一般参加者を増やすことを考えています。

総会に引き続いて開かれた交流会では、日進岩藤川自然観察会の鬼頭さんと築水池自然観察会の松尾さんから、家の周りにいるクモの話や観察会の様子を聞きました。両者とも今後の展望についても語られ、次回以降の発表が楽しみです。

尾張支部 平成29年度役員

会 長：齋竹 善行、
副会長：平井 直人
事務局：内海 勇夫
会 計：木村 眞一郎
監 事：小木曾 三廣
通信編集：高谷 昌志
通信発送：出口 慎治
HP管理：山田 博一

東三河支部総会報告

東三河支部 寺本 和子

日 時：2月4日(土)14:00～

場 所：豊橋 開発ビル

出席者：34名 委任状：32名

今年の総会は例年とは異なり、黙祷から始まりました。会員だった柴田諭子さんが昨年亡くなったためです。元気だったころの面影、闘病中にもかかわらず会のために骨身を惜しまず活躍されていたことなどが思い出され、会員一同、寂しく、とても残念な思いでいっぱいです。

平成28年度事業報告および、事業会計収支報告はすべて承認されました。その後役員改選が行われ2名の理事の退任、2名の理事の新任が承認されました。29年度の事業計画では、年間の観察会開催数が多いため、例年各観察会の日程調整に苦勞する状況を受け、年4回の地域観察会、一泊研修の日程を最優先にし、2か所で行われている定例観察会の開催数を、ほぼ半分近くに減らすことのでした承認されました。また29年度事業会計収支予算も承認されました。

総会后、会員の神戸敦さんの「哺乳類雑話」と題した卓話が行われました。豊橋市には29種の野生動物の生息が確認されています(2015)。野生動物の調査法、キツネ、タヌキ、テンなど13種の動物にまつわる話、表浜に打ち上げられた(2015)マッコウクジラの解体の話などについて、写真と神戸さん自らが解体した動物の骨、糞分析、胃の内容物などの実物も交え、聴衆を飽きさせない話術で楽しい時間を過ごしました。その後、懇親会が行われ、散会しました。

東三河支部 平成29年度役員

会 長：寺本和子
副会長：影山博史(事務局長兼)、
岩崎員夫(会計兼)

メリケントキンソウ（キク科）*Soliva sessilis* Ruiz et Pav.

調査・保全担当 瀧崎 吉伸



▲メリケントキンソウ

メリケントキンソウは、南米原産の繁殖力が非常に旺盛な草本です。植物体は小さく、地面に這うように広がります。よく育つと直径 40cm ほどのパッチになります。

非常に困ったことに、この草は果実に面鋸のような棘が出来ます。靴の裏に突き刺さり、運ばれて散布するのです。この棘は危険で、うかつに手などをついたり、シートを敷いた上に座ったりすると、大変な痛みを伴う怪我をします。芝生に容易に入り込むため、競技場や公園などでしばしば人を傷つけています。このやっかいものが、最近愛知県にも広がってきました。

以下、県内の標本記録（愛知みどりの会標本室および瀧崎保管）をあげます。

2009, 5, 30	豊橋市小島町	中西普佐子	3223
2011, 5, 20	春日井市高蔵寺町	芹沢 俊介	86959
2011, 6, 3	名古屋市天白区道明町	渡辺 幸子	6219
2011, 6, 10	名古屋市昭和区鶴舞	鳥居ちゑ子	2908
2012, 5, 18	稲沢市祖父江町	渡辺 幸子	6415
2012, 6, 1	名古屋市名東区猪高町	鳥居ちゑ子	3057
2014, 6, 1	豊橋市伊古部町	瀧崎	30271
2016, 4, 16	田原市中山町	瀧崎	31550

このほかにも、どんどん勢力を増しているものと思われます。このままでは、公園の芝生の広場にレジャーシートを敷いて子どもを遊ばせるなどということが出来なくなるかもしれません。そこで早急に、県内、特に公園や河川敷など多くの人がレジャーで活用する場所を中心として、分布調査をしたいのです。調査結果は、自治体や地方新聞等に知らせ、注意喚起や除草をお願いしたいと思います。

なお、メリケントキンソウを手で抜くのはかなり困難のため、除草剤に頼らざるを得ませんが、芝生など、残したい植物への影響が問題になります。

調査にご協力いただける場合は、以下により、自然観察指導員のメーリングリスト又は瀧崎までご連絡をお願いします。

◆調査方法など

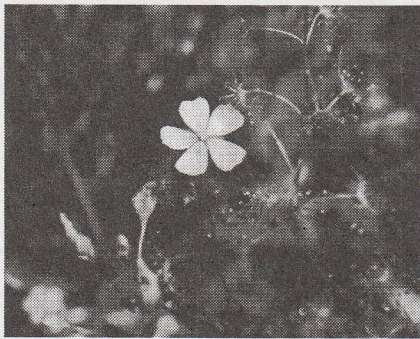
調査方法	写真をとる。 (出来れば標本にして撮影する)
記録すべき項目	●確認年月日 ●確認地名（公園名など、具体的に特定出来る情報。） ●緯度経度 ●確認した人の氏名
データ集約	自然観察指導員のメーリングリストで情報を共有出来たらと考えます。寄せられた情報は瀧崎がまとめます。
連絡先	自然観察指導員のメーリングリスト又は瀧崎メールアドレス (takizaki@tree.odn.ne.jp)

愛知県森林公園植物園で奮闘中

名古屋支部 田中美保子

指導員になって11年、愛知県森林公園植物園で働くようになって5年になります。

森林公園植物園は、森の広がる静かなたたずまいの公園です。園内の湿地では、東海丘陵要素の植物などを季節ごとに楽しむことができます。



▲湿地のイシモチソウ

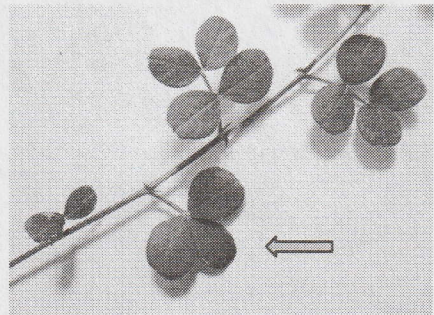
植物園では、自然観察会やウォーキングなどのイベントを毎月5回ほど開催しています。私も観察会のガイドや講座の講師を担当します。



▲講座「万葉の草木めぐり」の様子

植物園に勤める以前は、各地の観察会の参加者として自然を楽しんだり、ボランティアガイドをしたりしていました。仕事となると緊張して自分なりに真剣に勉強して

います。先日は講座の下調べをしようと冬越しのカラスノエンドウを観察していて、四つ葉のクローバーならぬ三つ葉のエンドウを見つけました。そんな時はちょっとご褒美をいただいた気分です。



▲三つ葉のカラスノエンドウ

その他、園内の開花状況を確認して、植物にラベルをつけ、掲示板に書き入れて来園者の方に発信もします。貴重な植物が刈られたり踏まれたりしないようロープを張って保護をし、ロープの中に入り込むケネザサは手刈りで取り除きます。

イベントや植物の保全では多くのボランティアの方が活躍しています。(中には各地で活動している指導員の方もいます。)皆さんとても熱心で、私も教えていただくことがたくさんあります。

植物園の利用者は、遠足の子どもたちや陸上の練習をする若い方もいますが、多くはシニアの世代です。毎日のように散策されている方もいます。

今は少子高齢化の時代です。将来、植物園がシニア世代の憩いの場であり、活躍の場であってほしい。そのための植物園の魅力作りをし、情報を発信していきたいと思っています。

平成 28 年度 第 4 回理事会 報告

日 時：平成 28 年 11 月 23 日（水・祝）14:00～ 場 所：刈谷産業振興センター

出席者：大谷、星野、堀田、石原、久米、森田、永田、布目、石川、瀧崎、浅井、新山、
長谷川、齋竹、滝田、南川、三田、寺本、河江

◆あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業

愛知県環境部自然環境課の森と緑づくり事業担当者（近藤氏）が理事会に同席したため、当協議会が今年度実施した自然環境サポーター養成講座①②について報告した。会計報告や報告書作成などの手続きについては、長谷川理事が担当者に確認しながら行う予定。

◆活動報告（7月～11月）

各行事について理事から報告。主な確認事項は以下のとおり。

- ・ 交流会費・講師謝礼等は、当協議会の経理規定に基づき支払うことを確認。
- ・ 受託事業「豊田市稲武・自然観察」では、講師による下見が会員同士の研修会のようになっている。子どもたちに何を教えるかなどもっと話し合いをする必要がある。

◆主な確認事項

あいちの 自然観察会	「支部間の交流の場になっていない」「いまさら他支部の観察会に参加する必要性を感じない」等、今後のあり方について意見が出された。 会員間だけでなく、協議会主催行事として、一般も含めより広く参加を呼びかけてはどうかという意見もあり、「新入会員の学習の機会とする」「一般向けのチラシを作成する」「『自然保護』へ行事を掲載する」「口コミを利用する」等のアイデアも出された。 各支部年1回開催することを念頭に、次回理事会までに、各支部で残したいところ、アピールする場所、独自のテーマ等考えてもらうこととした。
研修会	従来は各支部が企画していた研修会を、協議会主催の「フィールド研修会」とし、講演会とテーマをつなげるなど工夫してはどうかとの提案あり。 次回理事会までに研修担当が案を検討する。
総会	協議会ニュース No. 154（今号）p. 2 参照
指導員講習会	（案）日時：2017 年 9 月 2 日（土）～3 日（日） 場所：犬山国際ユースホステル スポンサーとなる共催企業がなければ、「森と緑づくり税」などの助成金を活用することとなるが、NACSJ の会員登録が主となれば助成金の対象となるのは難しいため、講習会と会員登録を切り分ける必要がある。
講演会	生物分類研修会として過去に実施した4回「総論」「植物」「昆虫」「哺乳類」の総括を行った上で実施の有無を含め検討することとなった。
協議会交流の日	来年度は東三河支部が担当する。
入会促進等の課題について	新人の育成と入会促進が喫緊の課題。今年度の会費未納者は退会者扱いとなっているが、会費を納入すれば会員として現状を回復している。他県主催の講習会に参加して指導員となった人に当会へ入会してもらえよう、新年度に向けて、各支部で取り組むこととなった。

※時間不足で審議できなかった議案は、次回の理事会で行う。

（事務局 石原）

* * * 編集担当からのお知らせ * * *

尾張支部の木村絢子会員による精密で美しい植物画の表紙は、今号でおしまいです。2015年から2年間、協議会ニュースの表紙を飾るため、季節に合わせて描き下ろしてくださいました。この機会に2年間の作品を掲載いたします。本当にありがとうございました。



自然の写真やイラスト大募集！

協議会ニュースの表紙を飾る写真やイラストを募集しています。撮りためた写真や描きためたイラストなどを編集部にお寄せください。たくさんのご応募、お待ちしております！

＜編集後記＞今号は掲載原稿の都合で10ページ構成となりました。最近協議会関連の行事の記事が多くなっています。会員相互の情報交換・共有の場として皆様からの投稿が多くなることを期待しています。写真やイラスト大募集中です！（久米）

編集スタッフ	岡田雅子 久米末祐 馬場隆之 日浦誠章
「協議会ニュース」	久米末祐 TEL : 090-3302-1621
編集部	E-mail : ni.saboten@gmail.com

愛知県自然観察指導員連絡協議会（あいち自然観察会）事務局 石原則義
〒464-0096 名古屋市千種区下方町7-3 TEL/FAX : 052-711-3087
E-mail : noriyoshibob@yahoo.co.jp Web Page : <http://naichi.net>
郵便振替口座 : 00820-9-6546（名義 : 愛知県自然観察指導員連絡協議会）

愛知県自然観察指導員連絡協議会（あいち自然観察会）機関誌「協議会ニュース」154号 平成29年3月発行